

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」南栗橋校		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日 ～ 令和8年 1月 14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日 ～ 令和7年 12月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教室環境が整っている 児発スペースが確保できている	空間を活かしたイベントの開催を企画	空間を最大限に活用したイベントを企画し、普段と違う体験で楽しんでもらう
2	職員に保育士が多い	お子さんへの支援はもちろん、保護者への対応も安定している	保育士としての経験を存分に発揮してもらい質の高い支援を目指す
3	駅が近い	電車でのご利用でも駅から徒歩3分なので負担が少なく済む	車の運転が困難な状況では電車でのご利用の促しができる

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「学習への対応が中心」というイメージが定着している	集団に馴染むスキルを伸ばすべくSSTの取り組みを充実させる	契約時やモニタリング時にSSTに力を入れて取り組むことを周知していく
2	職員が定着しないイメージを持たれている	職員の定着	職員同士の報連相強化・上長との面談で思いを発する機会を持つことを継続する
3	専門職員がいない	専門職員による専門性のある支援	専門職員の配置

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」南栗橋校					公表日		2026 年 2 月 14 日		
							利用児童数	17名		回収数	17名
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環 境 ・ 体 制 整 備	1	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	0	0	0	パーテーションなどで一人一人のスペースもあり、良い	今後も安全に運営することを踏まえながらスペースの確保に努めます			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	0	0	・最近先生が増えて安心して通えています ・子供が一人きりになることがなく、良い	現状維持をしながら6人体制を目指してまいります			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	2	0	0	・どこに何があるかすぐに分かるようになってい る ・子どもが分かり易い路線でスペースが区切られて いるので分かりやすいです	利用者様にも職員にも見てわかる配置を 継続していきます			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	0	常に清潔である	今後も清潔保持をし、快適に活動できる よう配置してまいります			
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	4	0	0	・その時の子供のテンションなどにも合わせた支 援のため、子供も意欲的で良い ・まだ通い始めて何回かしか利用していないの で、これからかなと思います	引き続き臨機応変な対応を心掛け、専門 性を高めてまいります			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	1	0	0	合っている	今後もプログラムに合わせた支援内容を継続して いきます 公表された支援プログラムを確認していただけるよ うな発信を思案します			
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1	0	0	きちんと聞き取りをしたうえで、ていね いに作成されている	今後もアセスメント、モニタリングをし ながら保護者の意向をしっかり聞き取っ てまいります			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1	0	0	無理なく、具体的である	今後も児童発達支援ガイドラインを踏ま えた支援を継続していきます 児童発達支援ガイドラインを確認してい ただけるような発信を思案します			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	2	0	0	計画に合った支援が行われている	今後も最新の計画を確認した上で支援準 備をいたします			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	2	0	0	子供の様子を見ながら進めている	計画に合った支援内容を心がけた上でス テップアップをイメージした活動をして いきます			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2	1	4	・他の施設ではありませんが、同じ事業所の子と 一緒にイベントに参加できる機会があります ・一度相談させていただいて園とやり取りしてい ただきました	必要に応じて今後検討してまいります			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0		契約時の説明に加え、質問があった場合 は即日対応を心がけます			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	2	0	0		FB毎に児童発達支援計画を提示している わけではないので、今後ご要望に応じて 対応していきます			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	6	1	3	・ペアレントトレーニングの研修などありまし たら参加したいです ・あれば参加したいと思います	開催を検討していきます			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1	0	0	できるようになったこと不得手なことも 随時お話していただいています	支援での気付き、提案を続け現状に合っ た支援提供ができるよう共通理解を心が けてまいります			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	4	0	1	・支援時の様子から日南についてのアドバイスなどがあり、とても 良い ・まだ通いはじめたばかりなので、これからかなと思います ・心配事などの相談にいつも真摯に対応していただいています	支援での気付き、提案を続け現状に合っ た支援提供ができるよう共通理解を心が けてまいります			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	0	0	0	いつもありがとうございます	支援での気付き、提案を続け現状に合っ た支援提供ができるよう共通理解を心が けてまいります			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	2	5	※未回答1 今後あれば参加してみたいです（兄弟 児）	今後開催を検討してまいります			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	2	0	0	通所日や時間変更など即日対応してくれる	今後もしできる限り日程調整のご要望には応じます その他ご相談も早急な対応を心がけてまいります
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1	0	0		今後もガルーン等を使用して職員間の報連相強化していきます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	2	1	2		今後も様々な楽しんでいただけるような情報発信をします 皆様に見えていただけるような発信も検討します
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	2	0	0		個人情報取り扱いを強化して皆様に安心していただけるよう努めてまいります
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	1	3		社内研修を行った後の教室掲示を検討し皆様へ周知できるようにしていきます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1	1	3		防災訓練を行った後の教室掲示及びモニタリング時に防災訓練実施報告をお渡しし皆様へ周知できるようにしていきます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1	0	3		社内研修を行った後の教室掲示を検討し皆様へ周知できるようにしていきます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	1	2		事故が発生した場合は迅速な対応をし保護者様へご報告いたします
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0	優しい先生方のおかげで息子も毎週ニコニコで入って行きます きりり早く行きたい！と毎回楽しみにしています	支援提供はもちろん、支援時間外の対応も大切にしながら「利用してよかった」と思っていたけりことを目指していきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	0	・支援外のことあたたかく受け入れてくださり、いつもありがとうございます ・きりり行きたい！と元気に話してくれます、いつもありがとうございます	支援提供はもちろん、支援時間外の対応も大切にしながら「利用してよかった」と思っていたけりことを目指していきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0		支援提供はもちろん、支援時間外の対応も大切にしながら「利用してよかった」と思っていたけりことを目指していきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」南栗橋校		2025 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個別スペース、全体で利用するスペースを設けている。利用コマ数によって窓際のスペースも上手く利用できている。 児発スペースでFB中も安心して過ごせる。	相談室をクールダウン室として使用する等スペースをうまく活かしながら運営します
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切に配置されている。 職員数によって利用制限を設けている。	振替追加等のご予約は職員配置を踏まえた上で予定していきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		支援ブースを駅に見立てた番号配置にしており、子どもにわかりやすくなっている。 支援ブースと自由スペースを分けている。 トイレに段差がある。	トイレ入り口の段差は使用時に声を掛け、必要であれば見守りを行い、事故等の無いように努めます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的に環境整備を行っている。児発スペースもあり子供たちの活動に合った空間になっている。 教室が広いのでイベント開催もしやすい。	広い空間を活かした安全に楽しい支援をしています
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて面談室を利用できるようになっている。	いつでも相談室をクールダウン室として使用できるよう整理整頓しておきます
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		数字を伸ばすため全員で協力し、各自どうするべきだったか振り返っている。 1on1の実施で目標設定と振り返りを行っている。	毎月開催されるユニット内職員会議、教室内での業務会議に合わせ1on1も引き続き行っています
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケート集計後MTを行い、結果の周知をしている。改善すべき点、継続すべきことを確認し、その後の業務に活かしている。	集計結果はガルーンで全員がしっかり確認できるよう発信します
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼やガルーンを利用し休休の職員にも情報がいきわたるようにしている。状況に応じて対応できている。 管理者・U長面談にて意見を発信できる機会を設けている。	随時、職員内で時間を作ってMTが行えています
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価が行われているかの把握ができていない。	情報入手し全員が把握できるようにします
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		必要に応じて研修が組まれている。公休等で参加できなかった場合はアーカイブ動画で内容を習得できている。	研修参加必須とし今後も質の向上を目指します
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		公表時期に確実に公表している。	全員が公開した支援プログラムを確認するようにします
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		児発管もしくは指導員がアセスメント・モニタリングを行いニーズに合った計画作成をしている。	アセスメント、モニタリングで保護者の意向をくみ取り、FBでの情報を合わせて計画作成していきます
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		都度、子どもの状態、支援の方向性を話し合いながらプランに盛り込んでいる。	随時、職員内で時間を作って検討が行われています
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画は回覧・周知したうえで、支援ファイルの裏表紙に貼付し、支援準備の際は常に確認することができている。	ファイル添付の個別支援計画を確認しながら支援準備、支援、記録をしています
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の支援記録やアセスメントシートを用いて把握に努めている。	今年度よりモニタリング毎にアセスメントを作成しているので最新のアセスメントを確認できるようになっています
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		FBで保護者の意向確認を常に行い、保護者に寄り添った支援を心がけている。必要に応じて希望に沿った支援プログラムに変更し対応している。	アセスメント、モニタリングで保護者の意向をくみ取り、FBでの情報を合わせて計画作成していきます
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラムの立案計画は全員の意見が反映されているが、その日に行う支援プログラムは「その日に合った内容」にするため個々の判断に委ねている。	支援にあたった職員が他の職員にも伝えておくべき内容はガルーンで発信できています

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	プログラムの立案計画は全員の意見が反映されているが、その日に行う支援プログラムは「その日に合った内容」にするため個々の判断に委ねている。	基本的な支援内容にブレがないことを考えた上で変化は入れています
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	基本的には個別療育が主なので、イベント開催で小集団活動を行っている。	イベントでのお子様の言動は次の支援の大きなヒントになります。今後もイベント開催しながら育ちと違う表情を確認させていただきます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝礼で一日の流れを確認したうえで支援にあたっている。支援プログラムの内容については個々で準備するため全員で確認はしていない。	支援内容については個人に任せていますが安全に運営するうえで目配り気配りはチームで行えています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	翌日の朝礼で振り返りを行っている。保護者からの要望や情報、報告事項はガールンを用いて共有している。	支援の振り返りと情報共有のため朝礼を行っています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	「支援後3日以内の記録作成」に気を付けてながら、100%達成できている。	翌月担当者が支援記録チェックを行い不備の修正をしています
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	保護者の意向をくみ取り、寄り添った内容の個別支援計画作成をします
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	基本的には管理者が出席し、必要時には指導員も参加している。日頃の状況を指導員から情報収集した上で出席している。	サービス担当者会議出席後は記録を作成し情報共有をしています
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	必要に応じて、保育所等に見学に向かい共有している。	今後更に強化していこうと考えています
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	必要に応じて、保育所等に見学に向かい共有している。 今後、利用者全員の通園中の園に訪問予定。	今後更に強化していこうと考えています
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	要望があった場合対応している。 利用中の子ども全員の移行支援を行いたい。	就学予定のお子様に声をかけながらできる限り対応したいです
	28	(28～30は、センターのみ回答)	○		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)	○	地域主催の会議や研修に管理者が参加し、意見交換・連携ができるよう態勢を整えている。	研修や連絡会に参加し連携を強化しています
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	個別対応のため行っていない。 必要性を感じない。	ご要望があれば今後検討していきます
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	FBで課題についての理解度を伝え、今後の方向性の確認を行っている。保護者のメンタルにも気を配り小さな変化を見落とさないように心掛けている。	主にFBでのお話から共通理解を深めています、ご要望があれば早急に相談に応じたいです
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	掲示板にてお知らせしている。必要に応じてLINEで発信を行っている。	ペアレントトレーニングについては今後開催を検討していこうと考えています
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約前面談、契約時に説明を行っている。 質問を受けたときにはその場で対応している。	ご質問があれば即対応しています
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	モニタリングで保護者の意向を確認した上で計画立案している。 支援中も本人の意思や意向を確認しながら支援を行っている。	保護者の意向にも配慮し、支援にあたる職員の意見も参考に作成しています

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画更新の際に確認を行い同意を得ている。	ご同意の上で署名いただいています
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		FB時に気になった保護者へはこちらから声を掛けてお話を伺うこともある。基本的には保護者からの相談に応じる形で進めている。	相談のご要望には早急に対応しています
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	イベントできょうだい同士で交流する場を設けた。 父母会、保護者会の開催は行っていない。今後の必要に応じて要検討。	事故やトラブルに繋がることを懸念すると兄弟参加型のイベント開催は困難な可能性もあります、が楽しんで喜んでいただけたことも事実です、今後は開催時要検討かと思います
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談の要望については間を空けず、直ぐ来所いただき対応している。	今後も相談のご要望には早急に対応していきます
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログ、Instagramで発信し活動内容の周知に努めている。	イベントや壁面制作の紹介に加え新規受け入れについても発信をしています
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書庫で保管し個人情報の扱いに十分な配慮を行っている。	保護者アンケートの回答が「どちらとも言えない」と回答されている方がいらしたのでイベント開催時等の取り扱いにも留意していきます
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもに対してはわかりやすく伝えることに留意し、保護者に対しても意思や意向を確認しながらお伝えしている。	保護者の方との意思の疎通はもちろん、お子様自身の思いや考えに目を向け続けていきます
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	個別対応のため行っていない。	ご要望に応じて検討します
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルについては書庫に配置し常に確認ができるようにしている。保護者への周知はSNSで訓練実施報告等で行っているが今後頻度を上げるべきと考えている。訓練は毎月実施している。	法定研修として受講しているので、受講後の発信をすることで周知へ繋がっていきたいです
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		法定研修として行われている。	法定研修として受講しているので、受講後の発信をすることで周知へ繋がっていきたいです
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時、面談時、モニタリング時に確認している。状況に応じ対応している。	今後も確認を継続します
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	回答なし17% 保護者からアレルギーについての聞き取りをし必要な対応を心掛けている。	対応が必要な方からは聞き取りを十分に行っています
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		法定研修を受講し安全管理についての知識習得に努めたうえで支援を行っている。	法定研修として受講しているので、受講後の発信をすることで周知へ繋がっていきたいです
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急避難場所や経路についての説明は行っているが、安全計画についての周知はできていないため今後改善していく。	法定研修として受講しているので、受講後の発信をすることで周知へ繋がっていきたいです
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事案は報告書を作成し、教室内で共有した後、GalunにてB内報告を行っている。	Galunで他校舎のヒヤリハット事案も確認しながら気持ちを引き締めて支援にあたります
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法定研修に参加し知識習得に努めた上で支援にあたっている。	法定研修として受講しているので、受講後の発信をすることで周知へ繋がっていきたいです
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		法定研修に参加し知識の習得に努めている。今後身体拘束に関する同意書を全ての利用者から頂く予定。	今後全てのご利用者様から「身体拘束に関する同意書」をいただきます